



# シティリビング

フジサンケイグループ

サンケイリビング新聞社シティ事業本部 〒100-0005千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル3階

〔配布〕 ☎03(5208)4560〔記事・広告〕 ☎03(5208)1981

2006年9月22日〔1150号〕

週刊●無料

結婚・妊娠・出産…。シティ読者世代に「避けては通れない」という問題意識が広がっている。現実問題として、結婚・妊娠・出産…という人も多くいる。札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・京都・大阪・福岡の8エリアのシティが共同で「結婚・少子化」に関するアンケートを敢行！全国から2771人のシティ読者の声が集まりました。そこで今回は、結婚・妊娠・出産…という問題意識が広がっているという現状を、2・3回に分けて、それぞれの問題について、みなさんの「シティ」アンケートで現状をどう感じているのか、

「結婚・妊娠・出産」という問題意識が広がっているという現状を、2・3回に分けて、それぞれの問題について、みなさんの「シティ」アンケートで現状をどう感じているのか、

**1271人**の声からリサーチ！  
晩婚・少子化…全国シティ読者の現実とは？

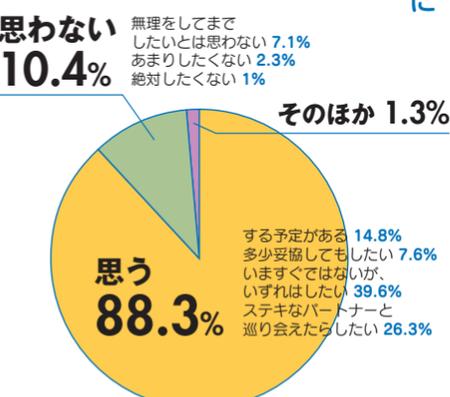
## 私たち、産みたくないわけじゃない！でも…



晩婚・少子化問題が話題になっている昨今。この現実と直面しているシティ読者のみなさんはどう感じている？今回全国のシティでアンケートを行ったところ、1271人の声が集まりました。結婚したくないわけじゃない、産みたくないわけじゃない…。アンケートの結果から見てきたシティ読者の現実と、晩婚・少子化問題の現状をリサーチします。

※7月12日～25日シティウェブで実施した「晩婚・少子化」アンケートの結果をもとに作成。有効回答数1271（独身615人、既婚656人）

### Q 独身の人に質問 結婚したいと思う？

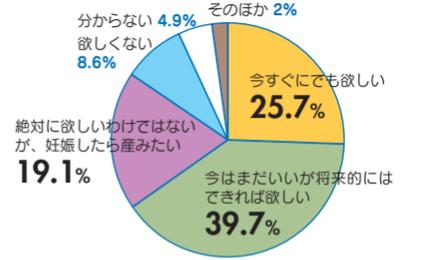


結婚をしたいと思っている人が大半。ですが、20代では約5割、30代でも約3割が、いずれはという結果に、40代になると積極的にしたいと思う人が減少。「結婚したいができない」というよりは、急いでいない人が増えたことが、晩婚化を招いている？

### 結婚・出産… 私たちが感じること

- 「結婚なんて親せき関係が面倒なだけ」と思っていました。今は親や祖母を安心させるためにしてもいいかな(30歳・独身)
- 子供は絶対欲しいが、経済的に落ち着いたらと考えていたら、あっという間に結婚して3年がたってしまった(29歳・既婚)
- 現在不妊治療中。そういう人って多いと思うのに「子供を産まない女性が多いのが問題」みたいな風潮に「みんながそうじゃないのに」と悲しくなります(28歳・既婚)
- 家庭を持ちたい。でも離婚はしたくないし、お互いが幸せに暮らしたいので、パートナーに妥協はできない(29歳・独身)
- 結婚して2年目、まだ子供が産まれません…。不妊治療に通い始めたものの、まだ授かることができません(34歳・既婚)
- 子供を産み育てることは大変ですが、両親がどれだけ子供を産んでよかったか、ということを知りたい(24歳・独身)
- 年齢を考えると今すぐにも産みたいが、共稼ぎしないと生活できないし…(35歳・既婚)
- いつかは産みたいと思いますが、一生仕事を続けたいと思ってるので、不安で産めない(36歳・既婚)
- 一度は結婚しないと職場で認めてもらえない。バツイチになってもいいから結婚したい！(31歳・独身)
- 一生一人だなんてさみし過ぎるし、老後の不安ってやっぱりあります(30歳・独身)
- 子育てほど試練も充実感も多い人生経験はほかにはないと思うので、絶対子供を欲しい(36歳・独身)
- 20代のうちにやっておきたいことがいろいろあるし、じっくり結婚相手を選ぶのも大事だと思うので、まだ結婚はいいかな(28歳・独身)
- 派遣社員なので、育児に関する環境が整った会社に正社員として転職できれば子供を産みたい！(26歳・既婚)
- 一人で暮らしている気軽さは捨てがたいが、結婚して妻や母という立場になるのにも興味がある(28歳・独身)
- 私が3人姉妹で楽しいので、子供は絶対に1人っ子にしたい！なので早く産まないで…(26歳・独身)
- 結婚しようと思う相手もいないのに、子供のことまで考えられない(35歳・独身)
- 子育てエッセーやマンガを読んでいて、妊娠や子育てって意外と楽しそうと感じた。なので、自分もいつかは体験したい(30歳・独身)

### Q 子供がいない人に質問 ※独身・既婚含む 将来子供を欲しいと思う？



### Q 「子供を欲しい」と思っている人へ質問 何人産むのが理想？

平均2.09人

独身者も既婚者も「子供を産みたい」という数字に大差はなく、「子供がいないから結婚しない」と考えている人は少数派。子供を欲しいと考えている人が、欲しいと思っている人数の子供を産んでいたら、合計特殊出生率が1.25(2005年)という少子化は進んでいないはず？問題は「産みたい」と思っている人が、実際には子供を産めない現状や、理想の人数を産めていないということにあるよう。



問題その3 子供を育てることはデメリットなの？

悪い面ばかり考えずに、  
“子供を育てる”喜びをもっと知って!

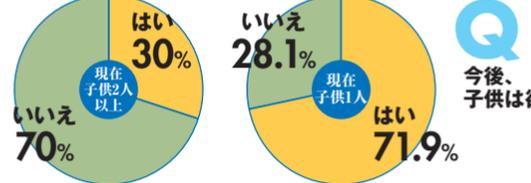
子供がいない人が感じる不安と  
実際に育てている人との間に  
大きなギャップが

子供を産みたいと思っ  
ている人でも、子供を育て  
ることに対する不安を感じ  
ている人が大半。今の生活  
を維持できなくなるのはイ  
ヤ、「悪いニュースばかり  
で子供を持つ喜びが分か  
らない」といった声が多く  
あります。でも、本当に  
子供を育てることって、そ  
んなにデメリットばかり  
なの？

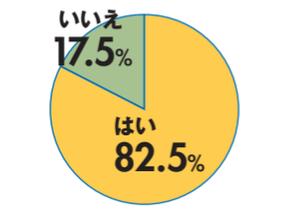
子育ては産みたくて思っ  
ている人でも、子供を育て  
ることに対する不安を感じ  
ている人が大半。今の生活  
を維持できなくなるのはイ  
ヤ、「悪いニュースばかり  
で子供を持つ喜びが分か  
らない」といった声が多く  
あります。でも、本当に  
子供を育てることって、そ  
んなにデメリットばかり  
なの？

子供を育てる上で、変わったことは何？

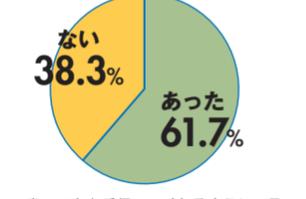
- 自分の親に対する思い、子供を産んで育てることがこんなに大変だとは知らなかったし、愛情がないととても無理だと思ったので、今からでも親孝行をしようと思うようになりました(27歳・子供1人)
- 仕事は仕事でしっかりやって、「子供のせいで休みがち」とか言われたいよう、以前より責任感は強まった(29歳・子供1人)
- 地域とのつながりなど、自分がこれまで見えていなかったことが見えるようになった(30歳・子供1人)
- 以前は周りのことを考えずつっ走っていた。今は歩く速度もゆっくり。信号もエレベーターも待つのが当たり前。そして車いすの人やお年寄りの気持ちが分かるようになった(30歳・子供1人)
- 今まであまり子供が好きではなかったけど、出産を機に、ほかの子供もかわいと思えるようになった。24時間、ものすごく自己中心的な子供の相手をしているので、少しは忍耐強くなった!(31歳・子供1人)
- 人生観。自分のためにだけ時間を使う生活はゆとりがあるし、自由で楽しいと思っていたが、子育てをしてみると、新しい生活の楽しさや大変さ・発見は、自分自身にとっても有意義だと思えるようになった(31歳・子供2人)
- 笑顔が増えた。いろんなことに対する考え方が変わった。応用がきくようになった。妥協が多い(33歳・子供1人)



子供がいる人へ質問  
パートナーは子育てに協力的？



子供がいることで  
パートナー間の変化はあった？



- 家のことを手伝ってくれるように。子供のことを通して夫婦の会話が増えた(27歳・子供1人)
- きずなが深まった。子供を守っていくんだという気持ち(29歳・子供1人)
- 夫が子供嫌いでいらなると言われ落ち込み悩んだが、産まれたらすこいかわいがりっぷりでこんな面もあったのかと見直した。お互い思いやりたり助け合う気持ちができてもっと仲良くなれた(37歳・子供1人)
- 正直、子供に愛情が向いてしまい、パートナーに対する興味が薄れた(27歳・子供1人)
- “子育て”という共同作業で、それまで以上に信頼関係が深まった。子供のことでケンカになることもあるけれど、お互いが真剣に子育てを考えているからだ、いつも思いつきり言い合いをします(38歳・子供1人)
- 家族としての感情は深まったが、男女という関係ではなくなった(32歳・子供2人)

**子供がいることの楽しみ・喜びは？**

守るべきものがある、絶対的なものがあるというのは、**思っていた以上に生きがい**になります。泣いてる顔もカワイイの。ホント不思議ですよー(24歳・子供1人)

仕事よりも数十倍大変な子育て。けれど、子供とのかわりの中で毎日幸せを感じられる。**成長を喜び、親と一緒に成長**できる。何より一緒にいて楽しい(29歳・子供1人)

産んでみると世界は広がる喜びは倍増するし、生きているってすばらしいことを実感。少子化問題では現代社会の子育てのマイナス面ばかりが論じられることが多いですが、**子育てって本当に楽しいしやめられない。**この喜びを分かち合える社会であってほしいと思います(33歳・子供1人)

大人になると「当たり前」で通り過ぎていたことのすべてが新鮮で、人間のまっさらな状態ってこうなんだなって感じられる。**できることが増えるたびに心が和む**(30歳・子供2人)

やっぱり子供の日々の成長です。**子供がたくさんいたらもっと楽しい**だろうって思います(29歳・子供1人)

どんなに疲れていても、日々成長するわが子を見るだけで癒される。**上司に嫌なことをされても、家で待っていてくれる子供を見ると、ちっぽけな悩みだと感じる**ように(31歳・子供1人)

生活にハリができた。**無条件で愛すべき存在がいて、成長していく姿を目の当たりにできることは本当に幸せ**(35歳・子供1人)

「いとおいってこういうことなんだなあ」って子供ができて初めて実感しています。**自分の支えとなる人が夫以外に**いるってステキなこと。早く2人目も欲しい(32歳・子供1人)

気持ちが温かくなります。毎日発見の連続で、**大人同士の関係から離れていられる時間が持てます**(32歳・子供1人)

少子化・男女共同参画担当 内閣府特命担当大臣 猪口邦子さんにインタビュー

育児に関する保護者の役割は大きいからこそ  
共有できる負担は社会で対応する必要がある

猪口邦子さんが少子化対策担当の初の専任大臣である内閣府特命担当大臣に任命されて約1年。少子化の現状について感じることを聞きました。

「多様な政策の中から少子化分野を浮き上がらせ、子育て支援が重要課題であることを理解してもらったところから始まりました」と猪口さん。さまざまな人と対話の中で、今まで悩みや苦境といった国民の声をいかに届けていたかが、今までの子育てが自己責任の世界で、支援がなかったことがあった。だからこそ、社会で共有できる負担を共有していくことが必要だと感じています。



PROFILE 猪口邦子さん

1952年生まれ。エール大学政治学博士 (Ph.D)。上智大学法学部教授、軍縮会議日本政府代表部特命全権大使を経て、2005年9月、衆議院議員。同年10月より内閣府特命担当大臣 (少子化・男女共同参画担当)。2児の母でもある

6月に決定された「新しい少子化対策」では、子供の年齢順に施策を整理したり、少子化対策の推進が分かりやすく系統化された。少子化は長時間労働の問題が、労働に時間を取られずきついで、出費いなくなったり、子育ての両立の問題が起きている。民間の企業に労働時間の短縮などを義務化することは難しいのが現実。法改正や支援など、国が改革を進める「いっせいでん必

国が改革を進めるのはもちろん企業・個人の意識の改革も重要

もっとアピールする必要あり!  
行政が行う「少子化対策」の現状は?

「次世代法」の施行や、厚生労働省がまとめた2007年度の予算の概算要求では少子化対策費が約3割増となるなど、少子化対策にも少しずつ明るみきざしが、「中小企業子育て支援助成金」、ベビーシッター費用などの補助や育児休業取得者の代替要員確保のための助成金などを盛り込んだ「両立支援レベルアップ助成金」など、(安田さん)

行政の少子化対策の動き

- 2006年4月から児童手当制度を拡充。10月からは出産育児一時金の支給額が30万円から35万円に。2007年4月からは0～2歳までの児童手当の加算や妊娠中の検診費用の補助、不妊治療の助成を現在の年間10万円から20万円に増額を検討
- 経済産業省では、内閣府とともに社内に託児所を設置する企業の法人税を減額するよう2007年度税制改革で要望
- 2007年度から全国すべての公立小学校で、放課後も児童を預かる「放課後教室」実施の決定



「一般事業主行動計画」を策定し、2年から5年の行動計画を達成するなど、一定条件をクリアし、労働局から認定された企業は、商品や広告などに、「次世代認定マーク」を使用することができるように。マークを取得したいと考えている企業は届け出をした企業の2割程度だそう